



札幌市立月寒東小学校学校便り 臨時号
令和8年（2026年） 10月 1日
<https://www.tsukisamuhigashi-e.sapporo-c.ed.jp>
EMAIL: tsukisamuhigashi-e@sapporo-c.ed.jp

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和8年4月23日に全国の6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。本調査により測定できるのは、子どもたちの学力の一部ではありますが、今回の結果を踏まえて明らかになった本校の子どもたちの学力や学習状況、そして改善の方向を保護者の皆様にお知らせいたします。

◆全国学力・学習状況調査の内容

（1）教科に対する調査（実施教科：国語・算数）

◇「知識・技能等」と「活用する力等」を一体的に問う問題

（2）生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査



【国語】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

『知識及び技能』

◆「言語の特徴や使い方に関する事項」

・全国平均を下回っている。

◆「情報の扱い方に関する事項」

・全国平均を下回っている。

『思考力、判断力、表現力等』

◆「話すこと・聞くこと」

・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

◆「書くこと」の平均正答率

・全国平均を下回っている。

◆「読むこと」の平均正答率

・全国平均を下回っている。

『その他（領域を問わず）』

・選択式、短答式、記述式ともに全国平均を下回っている。

今回の調査における成果と課題

○資料を活用し、考えが伝わるように表現を工夫すること。

△筋道の通った文章になるよう、文章全体の構成や展開を考えること。

△学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

△引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

△短答式、記述式問題の正答率が低い。

改善の方向

■国語の学習に限らず、日常の書く活動において、学習した漢字はできる限り使用する場を多く設定していく。

■説明文の文章の構成や意図を理解したり、それをもとに互いの考え等を伝え合ったりする学習活動の充実を図る。

■日常的に考えたことを書き表す活動を取り入れ、フィードバックすることで成果が実感できる授業を継続していく。



【算数】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

◆「数と計算」

- ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

◆「図形」

- ・全国平均を下回っている。

◆「測定」

- ・全国平均を下回っている。

◆「変化と関係」

- ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

◆「データの活用」

- ・全国平均を下回っている。

『その他（領域を問わず）』

- ・選択式は、全国平均をやや上回っている。
- ・短答式、記述式ともに全国平均を下回っている。

今回の調査における成果と課題

○数を四捨五入して、概数で表すこと。

○単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えること。

△体積の意味や計算による求め方を理解していること。

△百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。

△異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること。

△集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すること。

△領域問わず、無回答率が高い。

改善の方向

■どの領域においても、視覚的に児童の助けとなる具体物やICT教材を積極的に活用することで、児童の理解を深める。

■習熟度別学習などを取り入れることで、基礎的、基本的な力の定着を図る。同時に、考える時間を確保したり、比較させたりすることで、思考力を高めていく。

■最後まであきらめずに問題に向き合い、解答する力を身に付けさせるため、粘り強く学習に取り組ませ、成果が実感できる授業を継続していく。



児童質問紙（～学習・生活の様子～）

令和8年度の調査では、73項目にわたって生活習慣、学習意欲、学習方法、学習環境等についての質問紙調査も実施されました。ここでは、全国平均と比較して特徴的だと思われる項目を中心にお知らせします。本校の子どもの現状として捉え、学校と家庭が一体となって子どもたちにとって望ましい環境づくりを行うなど、工夫して取り組んでまいりたいと思います。

全国平均と比較して 肯定的な回答の多いもの

- 自分にはよいところがあると思いますか。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
- あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理したり学校での活動でプレゼンテーションを作成したりすることができると思いますか。
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
- 総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか。
- 学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- 5年生までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを教えてくれましたか。
- 5年生までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか。
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- 5年生までにうけた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか。
- 英語の授業は好きですか。
- 将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいですか。

全国平均と比較して 肯定的な回答の少ないもの

- △学校に行くのは楽しいと思いますか。
- △学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。
- △土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。
- △学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
- △昼休みや放課後に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室にどれくらい行きますか。
- △放課後や学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、地域の図書館にどれくらい行きますか。
- △5年生までに受けた授業では、算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか。
- △今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

【質問紙の結果から】

「自分にはよいところがある」、「人の役に立つ人間になりたい」などに肯定的な回答が多く、自己肯定感が高く、将来の夢や目標に希望をもっていることが伺えます。また、先生からは認めてもらえ、相談できる大人もおり、安心して登校できる環境が整えられていることもわかります。その一方、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に肯定的な回答が少なく、学習への不安や友達関係での悩みがあることが伺えます。学習へのサポートを行ったり友達関係を円滑にしたりするなどの支援をしていきます。

「PC・タブレットなどの活用」については、肯定的な回答が多いです。情報収集、整理、プレゼンテーション作成など、ICT 機器を活用した学習は今後も継続し、ICT 機器を活用することができるという児童の自信を育んでいきます。

「5年生までにうけた学習」についても肯定的な回答が多く、継続して学習に取り組むことができている様子が分かりました。

「学習に対する意欲」は低くはありませんが、「家庭での学習時間」や「読書時間」が少ないという結果となりました。前述の「国語」と「算数」の結果からも伺えますが、理解不足の単元、領域があります。本校では、家庭学習カードを用いて家庭学習を推進していますが、今後も児童への声掛け、励ましを行い、家庭学習の定着を図りたいと考えております。御家庭でも声掛けをよろしく願いいたします。また、児童の「分からない」を減らすためにも、教材を工夫したり ICT 機器を活用した学習を組み込んだりしながら、実生活とつなげていくことで児童が楽しく学習できるよう工夫していきます。